

## 市長メッセージ<感染患者の急増を受けて>

令和2年7月豪雨では、久留米市でも大きな被害が出ました。被災された市民の皆さまへ心からお見舞い申し上げますとともに、一刻も早い復旧・復興に向け、市を挙げて全力で取り組んでいく所存であります。

久留米市では、7月18日に再び新型コロナウイルス感染患者が確認されて以降、短期間のうちに多くの感染患者が確認されています。国内に目を向けましても、7月29日には新たな感染患者数が初めて1,000人を超え、二日後の31日には1,500人を上回るなど、都市部のみならず国内至るところで急激に感染が拡大しており、独自に緊急事態宣言を行う自治体もある状況です。

全国的な傾向と同様に、久留米市におきましても20歳代、30歳代の若い世代の感染患者が数多く確認されています。若い世代の皆さんの感染が、家庭や職場でさらに感染患者を増やしていくという循環を断ち切らねばなりません。

若い世代の皆さんの活動的で、広範囲な行動は、一方では感染リスクと背中合わせです。「密閉」「密集」「密接」、この「3つの密」には、依然として新型コロナウイルス感染症に感染する危険が多く潜んでいます。

また、この感染症は自らが感染するばかりでなく、周囲の方々を感染させ、場合によっては重篤化させるという危険を伴っています。若い世代の皆さんには、この危険性について、改めて認識していただき、強い危機感を持っていただきたいと思います。

今、これ以上感染が拡大するか、それとも沈静化させるかの重要な岐路にあります。例年でしたら、梅雨明けのこの時期は、夏休みやお盆などで親しい人、懐かしい人と楽しい時間を過ごすことになるはずですが、市民の皆さまには、感染症が急速に拡大している現状に強い危機感を持っていただき、細心の注意を払って行動していただきますようお願い申し上げます。

また、新型コロナウイルス感染症に関連して、感染者・濃厚接触者、医療従事者等に対する誤解や偏見に基づく差別等が問題化しています。公的機関等から提供される正確な情報に基づき、冷静な行動をしていただきますようお願いいたします。

令和2年8月7日

久留米市長 大久保 勉